男鹿南中学校　校報　　令和４年3月３１日号

こだま

〒010-0521
男鹿市船川港南平沢字上大畑台30
男鹿市立男鹿南中学校
TEL/FAX 0185-23-3241/24-4947
https://edu.city.oga.akita.jp/ogaminami-
校報通算　第263号

はばたけ！　第３０期生　４３名！

保護者とともに（１組）

保護者とともに（２組）

在校生代表「送辞」　卒業生代表「答辞」

卒業生答辞

校長　加藤和彦

３月１０日（木）、４３名の男鹿南中３０期生が卒業証書を手に、それぞれの進路に向かって羽ばたきました。今年度の卒業式も来賓の方々をお迎えすることはできませんでしたが、男鹿市教育委員会より三浦良忠教育委員からご出席いただき、保護者、在校生、教職員が見守る中、卒業生一人一人に卒業証書を授与することができました。

卒業生代表の鎌田ゆきのさんは答辞で「コロナ禍の中で３年生は体育祭、南光祭を盛り上げようと一丸となって取り組みました。活動内容が制限され、悩むこともありましたが、楽しいことも苦しいことも全てを分かち合える仲間がいたから、その成功に向け頑張ることができました。仲間とともに汗を流し努力することで大きな喜びをみんなで共有することができました。これからは、在校生の皆さんが男鹿南中をリードしていく番であり、失敗を恐れず、新しいことにチャレンジして、南中の新たな歴史と伝統を築いてください。皆さんを応援しています」と後輩を激励。それを受け、在校生代表の近藤麻凛さんは「これからは卒業生が教えてくれた努力の大切さや優しい励ましの言葉を思い出しながら頑張っていきます。先輩方に負けないような最上級生になれるよう、みんなで力を合わせて行きます」と述べました。

卒業式の最後は「卒業の歌」として全校合唱と卒業生による合唱でした。今年の全校合唱は「旅たちの日に」、卒業生合唱は「遥か」でした。卒業生は、自分たちで選んだ合唱曲を限られた時間の中で練習を重ねてきました。当日、披露した卒業生全員が万感の思いで歌う合唱曲「遥か」は、私たちの心にずしりと響くものがありました。これまで３年間共に過ごしてきた友との多くの思い出を胸に、新たなるステージに歩みを進めた卒業生へ心からのエールを贈りたいと思います。

１組担任山田先生

２組担任荒川先生

卒業生合唱『遥か』